春闘のススメ

「グチ」を「愚痴」で終わらせない

利用者に対し、憲法25条にもとづく「福祉は権利」を各職場で保障するためにも、私たち福祉労働者が「人間らしく働くことのできる労働条件」をつくることが必要です。各職場では、要求討議・要求書提出・回答引き出し・団体交渉・確認書締結という「原則的な活動」を重視します。

賃金の大幅引き上げ・労働時間等の法令遵守の徹底・必要な職員の増員など、職場改善の要求をすべての分会から提出し、14春闘を元気にとりくみましょう！

春闘ってこんなこと

福祉保育労だけでは実現が難しい要求を全国の労働組合と統一してたたかうこと

春闘のはじまりは1955年

春闘は、1955年の春、8つ（合化・化同・炭鉱・金属・電気・私鉄・紙パ・電力）の産業別労働組合が全国一斉に「賃金の引き上げを求める要求」を提案し、交渉を開始したことが始まりでした。その後、公務労組を含めた多くの産別に参加を呼びかけ、統一行動として発展しました。

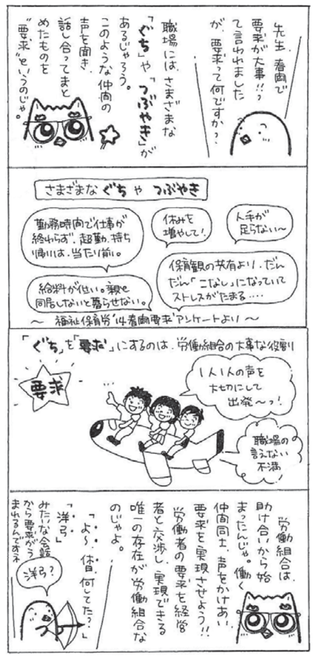
社会全体の賃上げを実現

日本では、ほとんどの職場で会計年度が4月にスタートすることや、新規職員の採用などで初任給が決められることから、春は労働条件を決めるのには非常にタイミングがよく、春闘で労働組合が勝ち取った賃上げを、地域の賃金相場に反映させることによって、組合のない職場も含め、社会全体の賃金の底上げを実現してきました。

多くの職場で行われている定期昇給は、春闘の前進の中で実現した日本独特の制度なのです。

要求をまとめよう

仕事やくらしで感じる「思い」を「グチ」や「つぶやき」で声に出すことからはじめよう



グチや不満から改善点をみつけよう

毎日の過密労働と生活のなかで、心も体もクタクタです。口には出さなくても、職場に対するグチや不満は尽きません。このグチや不満を束ね、何を改善すれば解決するのかを話し合うことが、要求づくりになります。

どんな小さな要求も聞き流さないで

要求づくりでは、組合員一人ひとりが感じている、仕事や生活に関わる改善したい問題・疑問など「なんでも素直に語り合う」ことがとても大切です。それはあなただけの要求ねっ！と聞き流さず、どんな小さな要求でも大切にして話し合いましょう。みんなで論議を深めることで問題点が整理され、「要求」にまとまっていくのです。

青年や非正規など、弱い立場にいる労働者の権利を守るのが労働組合の役割であることも、みんなの共通理解としていきましょう。

団体交渉をしよう

「団交」は憲法で保障された権利―要求をまとめあげねばり強く交渉を続けよう

「しかたない」では何も変わらない

福祉現場の「ブラック産業化」を改善していくことは、福祉・保育現場の未来をつくる福祉保育労の課題です。労働法違反の実態を「しかたない」であきらめることをせず、現場の実態を見直し、職場から大きく「賃金大幅アップ」「職員を増やせ」の声をあげていきます。

「団交」は労使対等意思統一して

団体交渉（団交）は労使が対等の立場に立てる唯一の場であり、話し合いの中で実質的な成果を勝ちとる場です。要求実現のためには、組合員の団結、情熱や勢い、ねばり強くあきらめない姿勢が非常に大切になってきます。団体交渉で成果をあげるために、資料作成や発言の準備など、組合員の意思統一を図っておくことが重要です。

文書回答で合意できても団体交渉で説明をしてもらい、確認書を交すようにします。

福祉のなかま 今月の主張

福祉人材確保に向け大幅賃上げや職員増等による労働条件の抜本的な改善を

措置制度から介護保険制度、障害者自立支援制度に移行する中、福祉職場で賃金の削減と非正規化が進み、深刻な人材難を引き起こしました。こうした状況を背景に政府は、「福祉人材確保指針」を2007年に改定しました。

改定された「指針」は、「国民各層から選択される職業となるよう、他の分野とも比較しつつ…経営実態や労働実態を把握すること等を通じて、…適切な介護報酬等を設定すること」が盛り込まれました。

「指針」の改定を受けて「介護職員処遇改善交付金」が予算化され、さらに「保育士等処遇改善臨時特例事業」が2013年度に実施されました。しかし抜本的な改善には至らず、介護職場は有効求人率が1・58倍（2011年度）と全産業平均の0・68倍を大きく上回る等、引き続き深刻な人材難の状況に置かれています。

2014年春闘で全労連は月額16000円以上の賃上げ、誰でも時給1000円・日給8000円・月給17万円以上という要求を掲げています。連合も5年ぶりに1％のベースアップを要求。このままでは福祉労働者と他産業との格差は広がる一方です。

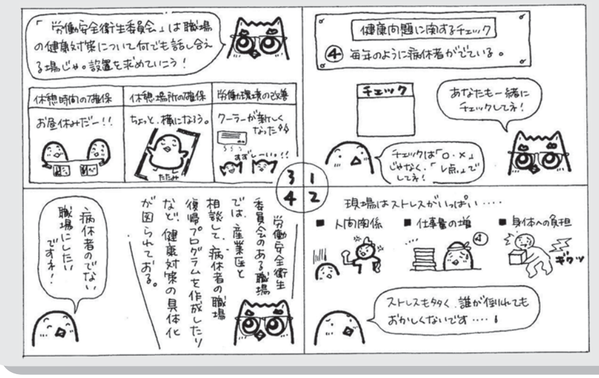
恒久的な処遇改善に向けた仕組みを作って財源を確保し、福祉労働者の賃金の大幅な引き上げと職場増で、人材確保を強化することを国と自治体に迫ることが、私たちに一層求められています。

福祉労働と運動の明日をつくる　学習・交流・情報誌
「福祉のなかま情報版」
好評発売中 定価300円（送料別）
特集２月号（214号）…「14年度版　福祉職の賃金・労働条件チェックの手引き」
春闘を迎え、職場の状況を見つめ直す時期です。給与表や手当、労働時間、休暇などを法令や基準に照らして、あらためてチェックしてみましょう。毎年改訂して発行している特集冊子はさまざまな地方組織や分会で活用され、好評です。チェックポイントなどを項目別に整理し、根拠も示した手引きです。ぜひご活用を。
お申し込みは支部、地本、県本部、または中央本部まで！
※内容については変更することもありますので、ご了承ください。

教えて「福志郎（ふくしろう）先生」72

案・ナカノ　画・ニムラ

～職場「法令遵守度」チェック～編「健康問題をチェック」の巻



「みんなの一歩キャンペーン」

賛同金にご協力を！ 目標1000万

運動の理解を広げ、大きく展開していくための必要経費として協力（団体１口3000円、年間1000口以上目標）をお願いします。

郵便振替口座
00110-1-45713 全国福祉保育労働組合
（「みんなの一歩賛同金」と明記してください）

福祉保育労 ニュースフラッシュ

今年も各支部対抗でパフォーマンス

元気！元気！で旗びらき－東京地本

１月20日、東京地本旗びらきが141人の参加で元気に行われました。今年の旗びらきのテーマは「元気！元気！東京地本」。厳しい職場実態のなかで、がんばっている私たち。なかまの存在を実感し、思いを共有することをめざし、地本執行委員が準備しました。

東京地本の旗びらきといえば、各支部対抗の３分間パフォーマンス。今年も世相や流行語、福祉をめぐる情勢などを織り交ぜた寸劇などで楽しみました。

がまんや無理した働き方は違法

旗びらきで要求出しあう－山梨福祉労

山梨社会福祉労の旗びらきを１月10日に行いました。中央から澤村書記長を招き、年代別に４グループに分かれて、職場の不満を出しあいました。給料が安い、休憩が取れない、仕事量にみあった残業代を出してほしい等々、わいわいしゃべりあうことで時間もあっという間に過ぎていきました。がまんや無理をしての働き方は違法なんだ！とみんなで確認し、運動を進めていく決意を新たにしました。「国や理事会に〝みぃいしみた〟案をだしていこう！」（甲州弁―しっかりとした、本格的な）

「がんばってください」とエール

福祉士試験応援オルグ－広島支部

広島支部では10年以上毎年、組織拡大として福祉士試験（介護・社会・精神保健）会場へ出向き応援オルグを行っています。この活動により労働相談にもつながっており、大事な活動になっています。１月26日も介護福祉士試験会場前で「がんばってください。いってらっしゃい！」と受験者に声をかけました。ティッシュを渡し、「紙のご加護」を！

2014春闘を旺盛に進めよう

中央委員会で14春闘方針を確認

１月18日・19日に東京で第50回中央委員会を開催しました。25本の発言があり、各地の職場実態や組織拡大・強化など全国のとりくみを交流しました。14春闘方針はじめ３本の議案を採択し、14春闘を旺盛に進めていくことを確認しました。